
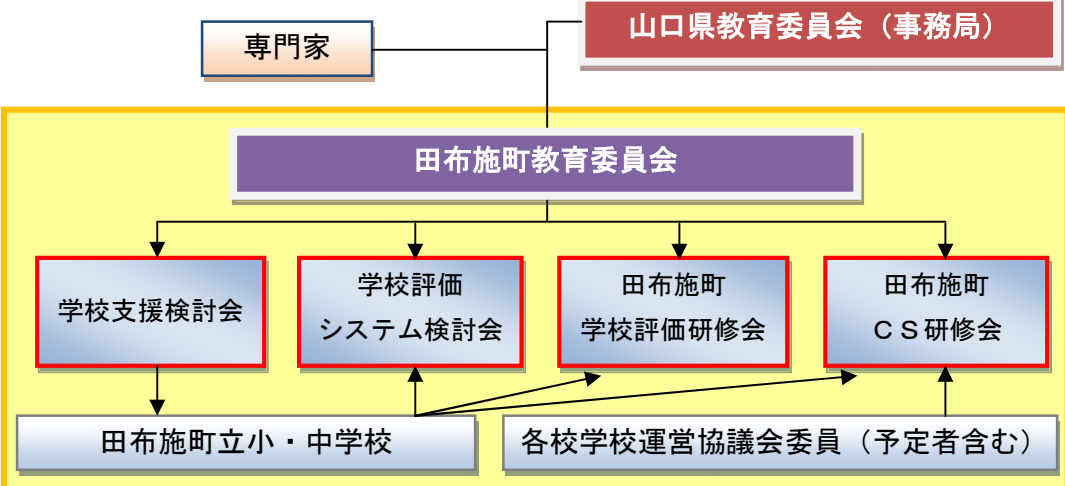


「自律的・組織的な学校運営体制の構築に向けた調査研究」まとめ【概略版】

教育委員会名	茨城県教育委員会																
研究課題	A 教育改革に結びつく学校評価システム構築事業 B 学校の事務機能、運営体制の強化に関する調査研究																
研究のねらい	<p>社会の変化により学校の抱える課題が多様化している中で、円滑な解決を図り、教員が子供と向き合う時間を確保していくためには、学校運営を組織的・継続的に改善していくことが重要になる。一方、学校評価を充実させることにより、その取組に対する検証を適切に行っていくこと、さらに、学校関係者評価を実効性あるものにしていくことで家庭・地域の理解や協力を求めていくための手段としていきたいと考える。</p> <p>そこで、地域とともにある学校づくりやチーム学校の推進を通して、学校マネジメント力強化の観点から実践研究を行い、その成果の普及を図ることにより、本市市町村立小・中学校における自律的・組織的な学校運営体制の構築の促進に資する。</p>																
研究の概要	<p>1 管理職対象のマネジメント力向上に向けた研修（全市町村立小中学校対象）</p> <p>○ 各学校が管理職を中心に学校組織マネジメント力を高め、業務の効率化を目指した研修を5つの教育事務所ごとに実施した。</p> <p>【内容】・講演 「学校組織マネジメントによる学校の業務改善」 ・グループ研修 「各学校における業務の効率化について」 ・参加者 校長、副校長、教頭</p> <p>2 モデル校・地区（1校、3地区の指定）による実践研究</p> <p>○ 平成23年度から26年度までは、各学校における業務の軽量化・効率化に関する実践研究を行い、県内小中学校へ成果の普及を図ってきた。本年度は、「チーム学校」の視点に立ち、学校の事務機能、運営体制の強化、学校評価を活用した業務改善について実践研究を行い、その成果検証を実施した。</p> <p>【内容】・モデル校・地区における自律的・組織的な取組 ・講師（茨城大学教育学部 准教授 加藤崇英先生）と県教委担当者による訪問指導</p> <p>【モデル校・地区の研究課題と取組内容】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>モデル校・地区</th> <th>研究課題</th> <th>取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>牛久市 (牛久第一中学校)</td> <td>学校の事務機能、運営体制の強化に関する調査研究</td> <td>「業務の効率化」「事務職員の資質の向上」「学校運営支援」を目指した学校事務の共同実施</td> </tr> <tr> <td>鹿嶋市 (波野小学校)</td> <td>学校の事務機能、運営体制の強化に関する調査研究</td> <td>業務改善と事務職員の人材育成を図り、教員が子供と向き合う時間の確保を目指した学校事務の共同実施</td> </tr> <tr> <td>常総市 (豊岡小学校)</td> <td>学校の事務機能、運営体制の強化に関する調査研究</td> <td>事務の効率化と平準化を図り、教員が子供と向き合う時間の確保を目指した事務の手引き作成やシステム化</td> </tr> <tr> <td>小美玉市立玉里小学校</td> <td>学校評価を活用した業務改善に関する調査研究</td> <td>学校関係者評価や第三者評価を生かし、質の高い学校運営を推進するための学校評価の充実・強化</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）内は調査研究の代表校</p>		モデル校・地区	研究課題	取組内容	牛久市 (牛久第一中学校)	学校の事務機能、運営体制の強化に関する調査研究	「業務の効率化」「事務職員の資質の向上」「学校運営支援」を目指した学校事務の共同実施	鹿嶋市 (波野小学校)	学校の事務機能、運営体制の強化に関する調査研究	業務改善と事務職員の人材育成を図り、教員が子供と向き合う時間の確保を目指した学校事務の共同実施	常総市 (豊岡小学校)	学校の事務機能、運営体制の強化に関する調査研究	事務の効率化と平準化を図り、教員が子供と向き合う時間の確保を目指した事務の手引き作成やシステム化	小美玉市立玉里小学校	学校評価を活用した業務改善に関する調査研究	学校関係者評価や第三者評価を生かし、質の高い学校運営を推進するための学校評価の充実・強化
モデル校・地区	研究課題	取組内容															
牛久市 (牛久第一中学校)	学校の事務機能、運営体制の強化に関する調査研究	「業務の効率化」「事務職員の資質の向上」「学校運営支援」を目指した学校事務の共同実施															
鹿嶋市 (波野小学校)	学校の事務機能、運営体制の強化に関する調査研究	業務改善と事務職員の人材育成を図り、教員が子供と向き合う時間の確保を目指した学校事務の共同実施															
常総市 (豊岡小学校)	学校の事務機能、運営体制の強化に関する調査研究	事務の効率化と平準化を図り、教員が子供と向き合う時間の確保を目指した事務の手引き作成やシステム化															
小美玉市立玉里小学校	学校評価を活用した業務改善に関する調査研究	学校関係者評価や第三者評価を生かし、質の高い学校運営を推進するための学校評価の充実・強化															

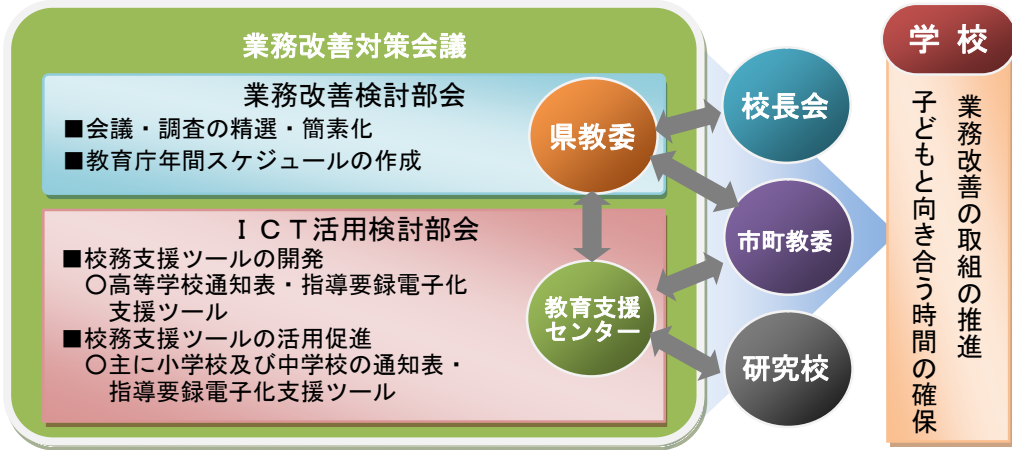
	<p>3 先進地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校事務の共同実施に係る先進地を視察し、課題解決の方策について長期の見直しをもつとともに、先進地の取組を分析し、モデル校・地区の実践に生かす。 <p>【内容】・共同実施の全体的な制度や概要，組織や役割分担，教員等の負担軽減に係る業務の効率化，事務職員の学校運営へのかかわり</p> <p>4 学校事務の共同実施研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校事務の共同実施導入市町村の増加及び実践内容の充実を図り，業務の改善を推進する。 <p>【内容】・テーマ 「学校事務の共同実施に求められるもの」 ・研修内容 講話，実践発表，情報交換，先進地視察報告</p>
<p>研究の成果</p>	<p>1 管理職対象のマネジメント力向上に向けた研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内の全管理職に直接，学校組織マネジメント力強化による業務改善について再認識させることができた。 ○ 中教審から出された「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」の考え方を伝達し，浸透させるよい機会となった。 <p>2 モデル校・地区による実践研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の事務機能，運営体制の強化に関する調査研究について <ul style="list-style-type: none"> ・事務職員の資質向上と事務業務の効率化・平準化が図れた。 ・事務職員の業務分担の見直しにより，教員の指導体制を充実させることができた。 ・教員の事務業務の縮減により，子供と向き合う時間を確保できた。 ○ 学校評価を活用した業務改善に関する調査研究について <ul style="list-style-type: none"> ・業務改善に向けた全教職員の協働体制を確立することができた。 ・積極的な学校関係者評価により，保護者・地域住民の意見を十分反映した業務改善ができた。 ・第三者評価により，効率的で質の高い業務改善ができた。 <p>3 先進地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校事務の共同実施を進める上での組織や役割分担，取組状況など今後本県として参考となる内容を把握することができた。 ○ 同じ地域学校園内で予算の執行管理，財務情報の共有，事務処理方法の統一など効率的で効果的な取組は大変参考になった。 ○ 事務職員が学校事務システムを操作し，児童生徒の学籍情報を地域学校園内で一元管理するなど教員が行う事務の効率化の取組は，教員が子供と向き合う時間を確保する業務改善を進める上で大変参考になった。 <p>4 学校事務の共同実施研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校事務の共同実施を進めるに当たり，業務の効率化・平準化や事務職員の資質・能力の向上，学校運営支援の在り方等，実施する上でのねらいや効果について研修することができた。
<p>本件 問い合わせ先</p>	<p>茨城県教育庁学校教育部義務教育課人事担当 TEL：029-301-5220 FAX：029-301-5239 E-mail：gikyo@pref.ibaraki.lg.jp</p>

「自律的・組織的な学校運営体制の構築に向けた調査研究」まとめ【概略版】

教育委員会名	山口県教育委員会
研究課題	A 教育改革に結びつく学校評価システム構築事業 B 学校の事務機能の強化、組織的な運営体制の強化に関する調査研究
研究のねらい	<p>A 教育改革に結びつく学校評価システム構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 同一中学校区内の小・中学校において、小・中学校共通の評価項目を設定し、各校の学校運営協議会がその評価結果を活用して取組を推進することにより、地域と連携した学校運営体制の構築を図る。 <p>B 学校の事務機能の強化、組織的な運営体制の強化に関する調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 校務支援ツールの開発を進めるとともに、活用を促進し、校務の一層の効率化を図る。 ■ 学校の負担軽減策の検討を進め、教職員が子どもと向き合う時間の確保を図り、充実した学校運営に資するよう取組を進める。
研究の概要	<p>A 教育改革に結びつく学校評価システム構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 田布施町立田布施中学校区の小・中学校5校を研究指定校とした。 ■ 学校評価システム検討会を開催し、専門家を交えて以下の内容について検討した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校評価に係る組織の構築 ・ 小中共通の学校評価関係実施スケジュールの作成 ・ 小中共通の評価項目の設定 ・ 学校評価書の内容の充実 ■ 学校支援検討会を開催し、外部アンケートの作成、分析、学校課題の把握等について、専門家から町教委に対し、指導助言を行った。 ■ 田布施町学校評価研修会を開催し、教職員等に対し、学校評価に関する基本的な内容に係る研修等を実施した。 ■ 田布施町コミュニティ・スクール研修会を開催し、田布施中学校区の小・中学校5校の学校運営協議会委員（委員予定者を含む）及び教職員間で、「育てたい子ども像」について協議した。  <div style="text-align: center;">  </div>

B 学校の事務機能の強化、組織的な運営体制の強化に関する調査研究

- 業務改善対策会議を設置し、その中に業務改善検討部会とICT活用部会を組織した。
- 業務改善検討部会では、教育庁各課が主体となり、小・中・高等学校校長会や市町教育委員会と連携して、会議・調査の精選・簡素化等に取り組んだ。
- ICT活用検討部会では、やまぐち総合教育支援センターと県教育委員会が連携し、研究校の協力を仰ぎながら、校務支援ツールの開発に取り組むとともに、活用を促進した。



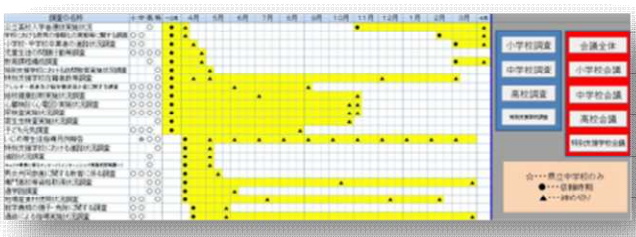
A 教育改革に結びつく学校評価システム構築事業

- 田布施町立小・中学校共通の評価項目、学校評価書、学校評価スケジュールを作成した。
- 学校支援検討会において、田布施町教委指導主事、社教主事等が、外部アンケートの分析、学校課題の把握方法等について理解を深めた。
- 田布施町コミュニティ・スクール研修会をとおして、小・中学校関係者が、育てたい子ども像を共有した。

B 学校の事務機能の強化、組織的な運営体制の強化に関する調査研究

研究の成果

- 高等学校通知表・指導要録電子化支援ツールを開発した。
- 12市町で28回の校務支援ツール活用研修会を実施した。特に、小学校及び中学校の通知表・指導要録電子化支援ツールの活用が促進された。
- 学校関係者や市町教育委員会の意見を踏まえ、教育庁各課が主催する、教員を対象とする各種会議・諸調査について、実施方法等の見直しが進んだ。
- 教育庁各課が主催する教員を対象とした会議・調査に係る年間スケジュール(平成28年度版)を作成し、各学校に配付した。



本件
問い合わせ先

山口県教育庁教職員課学校管理班
TEL : 083-933-4555 FAX : 083-933-4559 E-mail : a50200@pref.yamaguchi.lg.jp